

プレスリリース
報道関係者各位

2017FY032
2018/02/20
「新しい東北」官民連携推進協議会

全国被災地語り部シンポジウム in 東北 「KATARIBE」を世界へ ～語り部と震災遺構が紡ぐ“被災地”と“未災地”～

南三陸ホテル観洋は、震災時に避難所として施設を開放し、当時の様子を伝える『震災を風化させないための語り部バス』を通じて震災の教訓を語り継ぐ活動を行っています。

これまでの活動を基に、第3回目となる「全国被災地語り部シンポジウム in 東北「KATARIBE」を世界へ」を企画しました。地元南三陸の語り部はもとより、熊本や阪神・淡路の被災者の方にもご来館いただき、震災の記憶を風化させない為の取組についてディスカッションを行います。

被災の状況を語り継ぎ、未来の防災・減災を実現していくためには被災地、未災地で共通の認識を育むことが重要です。例年多くの方にご参加いただいております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

概要は添付資料および下記の URL をご参照ください。

<https://ja-jp.facebook.com/kataribesymposium/>

【本件に関する報道関係の問合せ先】

南三陸ホテル観洋

TEL : 0226-46-2442

Email : minamisanriku_somu@kanyo.co.jp

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

第3回 全国被災地 語り部シンポジウム in東北

2018
【参加無料】

「KATARIBE」を世界へ

～語り部と震災遺構が紡ぐ“被災地”と“未災地”～

平成30年 2月25日(日)・26日(月)

会場／南三陸ホテル観洋および南三陸町内
(宮城県南三陸町黒崎 99-17 TEL.0226-46-2442)



「震災を風化させないための語り部バス」による
地域活性化への取り組み

第3回ジャパン・ツーリズム
アワード大賞受賞

東日本大震災から間もなく7年が経ちます。
震災復興が進むとともに私達には様々な課題が見えてきています。
災害そのものを伝えることに加え、私たちが10年・100年・1000年先まで
伝えたいことを誰もが語り部として伝えていくことが重要です。
そのための課題解決、継承方法、連携、未来への指針について、
語り部自身の“声”で今こそ「被災地」と「未災地」を結び
教訓を紡ぐ機会が必要です。
日本から世界へ発信すべきことを共有し、
防災・減災を実現していくためシンポジウムを開催致します。



【プログラム】

■2月25日(日)

【第1部】【第一便】10:00～11:15 【第二便】11:00～12:15
▶震災を風化させないための語り部バス(2便運行)

【第2部】12:30～12:50

▶オープニングプレゼンツ

・浅間山大和讃(群馬県桐生市鎌原観音堂和讃会)

13:00～15:45

▶開会式

▶パネルディスカッション

「普遍性・持続性のある震災伝承と震災遺構
～「KATARIBE(語り部)」を世界へ・被災地から未災地へ・その先の未来へ～」

【第3部】16:00～17:30

▶分科会(3分科会)

- ①語り部として私たちが今、伝えたいこと
- ②震災遺構と語り部が伝える震災伝承と教訓～
- ③未来への伝承 ～10年・100年・1000年先へ繋ぐために必要なこと

【第4部】18:00～19:30 ▶交流会(立食形式)※有料

【第5部】20:00～22:00

▶ドキュメンタリー上映会&復興トーク

「伝える」～東日本大震災から7年、阪神・淡路大震災から23年

■2月26日(月)

【第6部】8:30～9:10

▶震災語り部 ～宮城・岩手の語り部による講話～

【第7部】9:15～9:45 ▶クロージング

【オプション】10:15～

▶語り部バスオプションツアー(2コース・ガイド付)

A.気仙沼コース B.大川小学校コース(石巻市)

※会期中の常設展示等あり

※プログラムの詳細・参加お申込み方法は裏面をご覧ください

ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp>

シンポジウムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。

■主催:「全国被災地語り部シンポジウム in東北」実行委員会

(南三陸町地域観光復興協議会、南三陸ホテル観洋、南三陸復興みなさん会、南三陸ガイドサークル汐風、北浜震災記念公園 野島歴史保存館、
北浜震災記念公園震災の語り部ボランティア、FMわいわい、多文化共生社会を育むワークショップ)

■共催: 科研基盤(B)「被災者支援レジーム/復興まちづくりの国際比較研究」

■協力: 公益財団法人仙台応用情報学振興財団、一般社団法人気仙沼観光コンベンション協会

■特別協力: 南三陸ホテル観洋協力会

■後援(予定): 宮城県、宮城県教育委員会、南三陸町、南三陸町教育委員会、気仙沼市、気仙沼市教育委員会、NHK仙台放送局、
TBC東北放送、ミヤギテレビ、仙台放送、KHB東北放送、河北新報社、日本経済新聞社仙台支局、
朝日新聞仙台支局、読売新聞東北支局、毎日新聞仙台支局、産経新聞東北支局、一般社団法人共同通信社、
時事通信社、三陸新報社、エフエム仙台、ラジオ気仙沼

本シンポジウムは、「新しい東北」官民連携推進協議会 連携事業として実施

25日(日)
仙台→南三陸
片道バス運行

(特別便)※事前予約制・無料
【仙台駅東口】9:00出発
(観光バス乗り場より)

※ご利用の方は事前にご予約
ください。
※語り部バスは11:00出発に
参加可能です。
※お乗りはJR戸倉駅まで
となります。

【プログラム】

2月25日(日)

第1部	南三陸町内
【第一便】 10:00 ~ 11:15 【第二便】 11:00 ~ 12:15	震災を風化させないための語り部バス ●シンポジウム特別コース 【ホテル出発→芦宮地区→志津川地区(奈高野会館は内部見学有)→ホテル戻り】
第2部	南三陸ホテル観洋内
12:30 ~ 12:50	オープニングプレゼンツ ・浅間山大和讃(群馬県郷土村録原観音堂和讃会)
13:00 ~ 13:30	開会式 ・実行委員長挨拶 阿部 隆二郎(南三陸町地域観光復興協議会長) ・来賓祝辞
13:30 ~ 15:45	パネルディスカッション テーマ「普遍性・持続性のある震災伝承と震災遺構 ～「KATARIBE(語り部)」を世界へ・被災地から被災地へ・その先の未来へ～」 ●パネラー 佐藤 誠氏(震災語り部・元気仙沼市吉地方 広域消防南三陸消防署副署長) 元田 久美子氏(宮古観光文化交流協会 学芸防災アドバイザー) 吉村 静代氏(益城だいきプロジェクト・きまに代表理事) メリー・コーベット氏(日本外国特派員協会理事) フラビア・フルコ氏(上智大学比較文化研究所客員研究員) ●メッセンジャー 横澤 明氏(群馬県郷土村録原観音堂和讃会) ●コーディネーター 横井 雅也氏(東北学院大学教養学部地域構想学科教授)

第3部	南三陸ホテル観洋内
16:00 ~ 17:30 (分科会の内容は予定)	分科会 ①語り部として私たちが今、伝えたいこと 神木 必勝氏(北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア) 坂井 竹男氏(稲むらの火の語り部) 高橋 健一氏(山元語り部の会副代表・防災士会みやぎ理事) 釘子 明氏(「陸前高田被災地語り部」くまこ歴代表) 他 コーディネーター/山内 宏泰氏(リアス・アーク美術館学芸係長) ②震災遺構と語り部が伝える震災伝承と教訓～ アドバイザー/宮本 肇氏(南三陸金と防災協賛会プロジェクト共同代表) パネラー 白幡 勝美氏(元気仙沼市教育長) 後藤 一磨氏(南三陸復興みなさん会代表・南三陸町文化財保護委員長) コーディネーター/会津 泉氏(多摩大学情報社会学研究科主任研究員・教授) ③未来への伝承 ～10年・100年・1000年先へ繋ぐために必要なこと～ パネラー/志津川高校生・志津川小学生はじめ県内各地の小中高生など コーディネーター/山内 松吾氏(志津川高等学校校長)

第4部	南三陸ホテル観洋内
18:00 ~ 19:30	交流会 車立食形式/有料

第5部	南三陸ホテル観洋内(5Fロビー)
20:00 ~ 22:00	ドキュメンタリー上映会&復興トーク 「伝える」～東日本大震災から7年、 阪神・淡路大震災から23年」 上 映:ドキュメンタリー「ちかてとおい」(岩手県大槌町) 「希望の樹ー大槌アート 日台共同プロジェクト」 復興トーク:大久保 倫伊氏(「ちかてとおい」監督) 吉村 静代氏(益城だいきプロジェクト・きまに代表理事) 小林 郁雄氏・金 千秋氏・重水 美司氏・ 山地 久美子氏(多文化共生社会青むろプロジェクト) 阿部 憲子氏(南三陸ホテル観洋女将)

2月26日(月)

第6部	南三陸ホテル観洋内
8:30 ~ 9:10	震災語り部の講話 ～宮城・岩手の語り部による講話～
第7部	南三陸ホテル観洋内
9:15 ~ 9:45	クロージング ●シンポジウム総括/山地 久美子氏(大阪府立大学客員研究員) ●語り部宣言/米山 正幸氏(北淡震災記念公園総支配人)
オプション	語り部バス オプションツアー(無料)
10:15 ~	A.気仙沼コース 南三陸ホテル観洋→11:00 旧気仙沼向洋高校見学(車窓) →気仙沼市内「命のらせん階段」見学(車窓) →12:30 気仙沼市の市(昼食 ※自己負担)→JR気仙沼駅(解散) B.大川小学校コース(石巻市大川地区) 南三陸ホテル観洋→大川小学校案内→12:30 JR石巻駅(解散) (11:00 ~ 12:00)

■会期中の常設展示等

【南三陸ホテル観洋「3.11からの記憶写真展」】
【全国・世界各地の被災地語り部の活動紹介パネル展示】
【東日本大震災関連の動画紹介】 【タンポールアート(遠藤昭三氏)】
【阪神・淡路大震災の写真展】 【北淡震災記念公園 野島画館保存館紹介ブース】
【神戸の壁・保存取り組みの紹介パネル展示】 【復興庁「新しい東北」関連資料ブース】

■各館ごとに希望のプログラムにご参加いただけます。

■お問い合わせ・お申込みはー
「全国被災地語り部シンポジウム in東北」実行委員会 事務局 TEL:0226-46-2442 FAX:0226-46-6200(南三陸ホテル観洋内) ※メールで問い合わせの際は minamisanriku_somu@kanyo.co.jp

シンポジウム参加申込書 FAX:0226-46-6200 Eメール:minamisanriku_somu@kanyo.co.jp

※会場準備の都合により、事前の参加お申込みにご協力ください。2月18日(日)まで(会場が定員になり次第締め切りとなります)

(ふりがな) 氏名	電話番号		住所		
	〒				
	所属等				
参加希望 第1部～第7部 ☑を入れたください (複数可) さらに、 「第1部」はどちらかの 時間帯に☑を 入れてください 「第3部」は参加人数を ○の中に記入ください	2/25 第1部	☐ 第一便(10:00～)	【第4部】 交流会	代表者氏名	
	第2部	☐ 第二便(11:00～)		交流会 参加人数	飲食代 3,000円(税込) × 名様
	第3部	☐ ①語り部として私たちが今、伝えたいこと ②震災遺構と語り部が伝える 震災伝承と教訓～ ③未来への伝承 ～10年・100年・ 1000年先へ繋ぐために必要なこと～		2/25(日) 片道バス	仙台⇨南三陸 特別便 (9:00出発・無料)
	2/26 第6部	☐ A.気仙沼コース (名様) ☐ B.大川小学校コース (名様)	南三陸ホテル観洋へ2/25にご宿泊希望の方は 下記の特別料金でご宿泊いただけます ●1室2名以上 お一人様 5,440円(税込) ●1室1名利用 お一人様 8,680円(税込) ※ともに1泊朝食付き・部屋タイプおまかせ条件		
	2/26(月) オプションツアー(無料)		※宿泊予約に ついては直接 お申込ください。		

※必要事項は全てご記入ください。